

下野市図書館協議会 議事録

審議会等名 令和6年度 下野市第3回図書館協議会
日 時 令和6年10月30日(水) 9時30分から11時10分まで
会 場 下野市役所 3階 303会議室
出席者 鈴木(一)委員長、鈴木(秀)副委員長、大垣委員、下山委員、松本委員、
高木委員、白石委員、齋藤委員、大橋委員
欠席者 石井委員
市側出席者 (事務局) 野口課長、猪瀬課長補佐、伊澤館長補佐
(指定管理) 和田総括管理運営責任者兼石橋図書館管理運営責任者、
中山国分寺図書館管理運営責任者、佐藤南河内図書館管理運営責任者

公開・非公開の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴者 0 人

報道機関 0 人

議事録(概要) 作成年月日 令和6年11月15日

議 題

- (1) 令和6年度事業中間報告について
- (2) その他 電子図書について

【協議事項等】

- 1 開 会<猪瀬補佐>
- 2 あいさつ

<鈴木委員長> おはようございます。読書の秋で図書館は多忙な時期。10月26日の石橋図書館まつりではおはなし会の影絵やギターコンサートが好評だった。特に石橋公民館と連携したギターコンサートは、図書館の新たな可能性が見えた。今日の中間報告では様々な行事が展開されている。皆で確認し合いながら、今年度後半もより良い活動になるよう協議していきたい。

3 議 題

- (1) 令和6年度事業中間報告について

【質疑等】

鈴木委員長 事務局と各館から説明をお願いします。
事務局 令和6年度事業中間報告により説明。
石橋図書館 令和6年度事業中間報告により説明。
国分寺図書館 令和6年度事業中間報告により説明。
南河内図書館 令和6年度事業中間報告により説明。
鈴木委員長 委員から質問があれば挙手願う。
高木委員 子ども向けのイベントは親子参加が多いように感じるが、実際はどうか。
石橋図書館 調べる学習支援講座は小学生がメインではあるが親子で参加した人もいた。
国分寺図書館 親が小学生と未就学児を連れて参加するケースが多い。徒歩や自転車で来館

するので子どもだけの参加は少ない。館内で本を読みながら待つ親もいる。

南河内図書館 親子での参加や見学する親が多い。

高木委員 了解した。

鈴木委員長 他に質問や意見はあるか。

松本委員 緑小学校の団体貸出数が少ない。以前は大量に借りていたが今は借りに来ないのか。

南河内図書館 コロナ以降少なくなった。

松本委員 了解した。石橋図書館の原爆パネル展は是非続けてほしい。今年被団協がノーベル賞を受賞したことでまた耳目を集めると思う。来年は展示にノーベル賞関連も含めて欲しい。

石橋図書館 原爆パネル展は市民団体の協力で実施しているので協議したい。

鈴木副委員長 原爆パネル展は入口近くに展示したことで来館者の目に触れやすく良かった。下野新聞で戦中・戦前の体験談がシリーズ掲載されているので、是非図書館でストックして見られるようにしてほしい。

鈴木委員長 貴重な意見に感謝する。他に質問等はあるか。他になれば（２）に移る。

（２）その他 電子図書について

【質疑等】

鈴木委員長 事務局から説明をお願いします。

事務局 『第５次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の概要』（国）、『栃木県読書活動推進計画２０２４－２０３０』（県）、及び読書バリアフリー法概要について説明。

バリアフリー法に関しては視聴覚が不自由な方だけでなく、ページがめくり難い方や弱視の方等も想定されている。学校でも取り入れるとあるので、図書館で導入し学校でも利用できるようにすること等を踏まえ、下野市でも導入していきたいと考えている。

鈴木委員長 質問や意見があれば挙手願う。

松本委員 『栃木県読書活動推進計画』は本年度から令和１２年度までの７年間の計画だが、これまでの『子ども読書活動推進計画』が無くなるという理解でよいか。

事務局 子どもだけでなく乳幼児からお年寄りまで全ての県民を対象に読書活動推進計画を立てるということで拡大された。

松本委員 令和８年度以降、下野市の子どもの読書活動推進計画はどうするのか。

事務局 県が変わったのでこれから検討したい。

松本委員 了解した。また電子書籍導入にあたっては予算の問題もあり、図書館協議会だけではなく幅広いフレームで検討する必要があると感じる。

野口課長 予算に制限はあるが、現在指定管理に依頼している枠組みの中で、予算・事業の組み換え等でできる中から着手したいと考えている。また学校の方も新たな費用を抑えて実施できるように協議を進めている。今後、社会教育委員会や教育委員会、また障がい者の部分で社会福祉部門とも協議して導入を進めたい。

松本委員 既に社会福祉部門の人も参加して検討しているのか。

猪瀬補佐 計画策定は来年度から本格的に動く。学校教育を含む関係各課の担当者や障がい者ボランティア団体等からの委員を検討しているところである。

野口課長 今までの紙の本を削るのではなく、 $+\alpha$ して読書の機会を拡大していきたい。

松本委員 下野市の次期計画にいかに関具体的に盛り込んでいくかということ、これから1年半くらいかけて検討するということか。

事務局 これから関係各所と協議し進めていく。

松本委員 電子図書は物理的な距離の制限を超越できる。下野市だけで導入するのは非効率で費用もかかるが、まとまれば立派なものができるのではないかと。近隣の市町との広域化を検討してほしい。

事務局 他市町と意見交換したい。

松本委員 お願いする。

鈴木委員長 これからの導入にあたって貴重な意見である。他にあるか。なければ以上で議題はすべて終了とする。

4 その他

事務局 次回協議会は1月29日（水）9時30分から、会場は同じく303会議室。評価について、各館からの報告を予定している。

5 閉 会

猪瀬補佐 以上で第3回図書館協議会を終了とする。